



# 地域医療連携室だより

## 患者さんのご紹介について

原則として15歳中学生までのお子さんが対象になります。

神奈川県立こども医療センターは、紹介・予約制で診療をしています。患者さんをご紹介いただく場合は診療情報提供書（紹介状）をご用意ください。原則として15歳中学生までのお子さんが対象です。

### ご紹介・ご予約方法について

地域医療連携室宛てに、診療情報提供書（紹介状）を郵送してください。

（画像 CD がある場合は同封してください）

診療情報提供書（紹介状）が到着後、内容を医師が確認し、受診日を設定させていただきます。

受診日が決まりましたら受診連絡票（受診日のお知らせ）を患者さんご家族と紹介元医療機関へ郵送します。

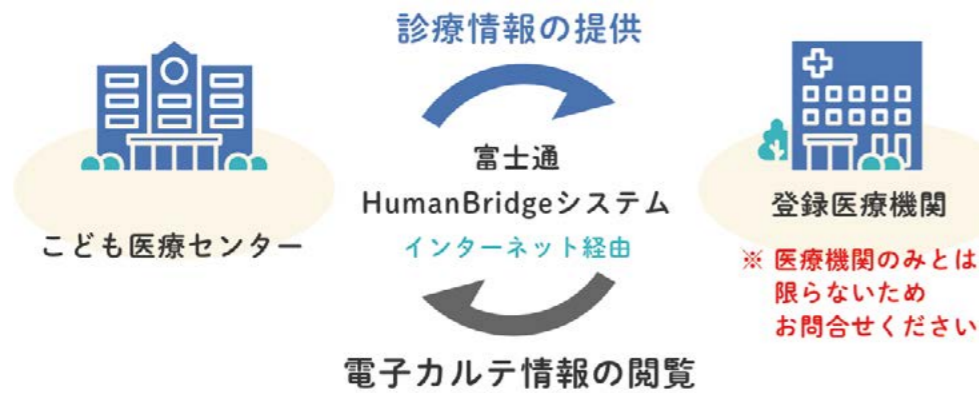
診療情報提供書の書式は自由ですが、専用ハガキもあるのでご利用ください。専用ハガキが必要な場合には、お申し付けいただければ、お送りいたします。



詳しくは、リニューアルしたホームページをご覧ください。

## かながわこども医療ネット

（株）富士通 HumanBridge を利用して、こども医療センター電子カルテ情報をインターネット経由で公開する情報共有システム「かながわこども医療ネット」をご利用いただけます。診療に関わる情報をネットワーク上でリアルタイムに共有して、効率的かつ緊密な小児医療提供体制の実現を目指します。



詳しくは、リニューアルしたホームページをご覧ください。

## 【当センターフォロー中の患者さんの急患受診】

まずは、かかりつけの医療機関、休日急患診療所や夜間急病センター等で受診していただき、必要に応じて**医師から当センター担当医宛に電話でご連絡ください**。医師からの連絡が難しい場合は、患者さんから直接担当医に電話連絡をして下さい。

※ 事前にご連絡をいただけない場合、受診出来ないことがありますので、ご注意ください。

※ 救急外来の診療は担当医ではなく、救急外来担当医が行う場合もあります。

## 神奈川県立こども医療センター 着任にあたって

総長 黒田 達夫



本年4月より町田治郎前総長の後任として神奈川県立こども医療センター総長に就任致しました。私は子どもの頃、母方の実家の県内中群二宮町で多くの時間を過ごし、自分の育ったところとして神奈川に強い思い入れを持っております。この度、神奈川で働くご縁を頂いたことを非常に嬉しく思っております。

これまで国立小児病院・国立成育医療研究センターで約20年、次いで慶應大学で約10年、小児外科医として出生前から成人化に至るこどもの医療に取り組んでまいりましたが、その中で小児外科の師に教わり、また自分でも強く感じてきたことがあります。それは、こどもの医療は目の前の子どもの病気を治すだけでは完了しないということです。こどもは家庭の中で生まれ、成長しつつ病気と向き合い、そして大人になって次の世代の家庭を作ってゆきます。こどもの病気によって家庭や家族が崩壊しないように支え、こどもの順調な成長を医療面から見守り、そしてこどもが社会に巣立ってゆくのを後押しする、これら全てがこどもの医療を担う者の役割であると考えています。加えて転勤の多い若いご両親であれば、こどもとの関わりは時間的のみならず空間的にも広い範囲のカバーが必要になります。当然のことながら、これは一個の医療者や医療施設の手には負えることはありません。地域の医療機関の皆様と一緒に大きな連携の輪を作って、その輪を構成する一つの鎖として、こどもの医療に関わってゆくことが必要であると思っております。病気の早期の兆候に真摯に対応して患者さんを受け入れ、治療後も情報を地域医療施設と共有してその後のフォローアップ体制を構築し、またそうした患者さんに何かあった場合にはすぐに対応できる医療機関として、障害児施設も含めたこども医療センターを機能させる様に努力してゆきたいと考えております。これまでと同様に皆様のご指導、ご鞭撻ならびにお力添えをお願いして、着任のご挨拶とさせていただきます。

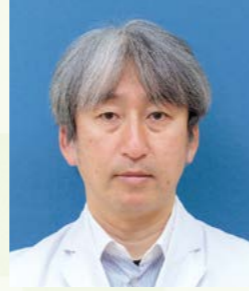
今後ともよろしくお願い申し上げます。



# 新しく就任した診療科部長のご紹介

## ごあいさつ

泌尿器科部長 西 盛宏



2023年4月1日より泌尿器科部長に就任いたしました西 盛宏です。私は2008年に泌尿器科臨床研修医として1年間お世話になり、その後2020年から再度こちらで働かせていただいております。

小児泌尿器科は内科的疾患から外科的疾患まで非常に幅広い疾患を取り扱っています。また各疾患においても様々な治療法があるため、治療法の選択は複雑で難解です。

近年、成人に対して行われてきた低侵襲治療法が小児に対しても広く施行されるようになっていきます。同じ治療でもより低侵襲となるよう、当院でも積極的に取り入れておりますが、一方でその技術難易度の高さから手術時間が長くなる傾向があり、結果的にご紹介いただいた患者様の手術待機時間が長くなるというジレンマを抱えております。また小児特有の発育・発達過程で消失・改善する疾患も多くあることから、経過観察を紹介元の先生にお願いすることも多々あります。

ご迷惑をおかけすることもあろうかと存じますが、ご紹介元の皆様と協力しながら、お子様に最良の治療が提供できるよう心掛けておりますので今後ともご協力よろしくお願いたします。

## 小児脳神経外科の守備範囲は 広くて深い

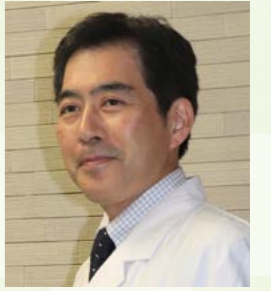
脳神経外科部長 笹野 まり



本年4月より、脳神経外科に赴任致しました笹野まりと申します。「はじめまして。」と言いたい処ですが、実は私が当院で働くのはこれで三度目となります。1回目は平成11年に10ヶ月間、2回目は平成18年から3年間、そしてこの春14年ぶりに神奈川県立子ども医療センターへ戻って参りました。院内の至る処で「お帰り！」とか、「お変わりないですね！（お褒めの言葉としておきましょう。）」等温かいお声掛けを頂き、励まされている今日この頃です。小児脳神経外科は、脳や脊髄などの神経組織のみならず、頭蓋骨や頭蓋内血管などを含む幅広い範囲の疾患を対象としております。広川大輔、今西雄也、木元蓉子との4人体制で、神奈川県の子どものための診療に取り組んで参りたく存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 困った時にはご連絡ください！

総合診療科部長  
(患者家族支援部長兼務) 田上 幸治



総合診療科は、院内・院外の医療ニーズに迅速に対応することをモットーにしております。一般小児科から慢性疾患や先天性疾患を持つ児の対応を他科と協力しながら行っております。また、子どもを取り巻く深刻化、複雑化した社会環境のなかで、子どものアドボカシーに係ること、不登校や摂食障害などの子どものころに係ること、小児科専攻医をはじめとした人材育成や社会に向けての啓発にも力を入れております。これまでの小児科医が手を付けていなかった課題の解決のために働くのが総合診療科と考えます。「子ども達は幸せか？」その課題に取り組んでいきます。

## スタッフ紹介

- |        |  |
|--------|--|
| 田上 幸治  | 専門分野：小児 小児神経 てんかん 虐待 栄養<br>取得資格：小児科専門医 小児神経専門医 てんかん専門医 |
| 森 里美   | 専門分野：小児 アレルギー<br>取得資格：小児科専門医、指導医 アレルギー学会専門医 内科学会認定内科医  |
| 田中 真理奈 | 専門分野：小児 小児救急<br>取得資格：小児科専門医                            |

## KCMCホームページのリニューアルについて

事務局長 八尋 有造



こんにちは。こども医療センター事務局長の八尋です。日ごろより地域医療機関の皆様には、患者紹介をはじめ地域連携事業への参加など当センターの運営にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。当センターでは診療情報をはじめ医療関係者や患者家族に向けて、ホームページで様々な情報を発信していますが、この度ホームページの全面リニューアルを行いました。これまで「情報が多くて検索しにくい」「スマホだと見づらい」などのご意見をいただいていたが、今回のリニューアルで大幅に改善できたものと考えています。

デザインはオレンジで統一し、わかりにくかったサイト構造を大きなタブを使ってスッキリさせるとともに、駐車場の満空情報を表示する機能なども追加しました。また各診療科のページでは、医師が積極的に診療情報の更新を行い、担当医の写真も一部掲載を始めました。今後は、必要な情報をタイミングよく発信できるように、データ更新など運用面でも見直しを進めます。

是非、新しくなったKCMCホームページ <https://kcmc.kanagawa-pho.jp>をご覧ください。

引き続きこども医療センターをよろしくお願いいたします。

